

2009年度

科目名	情報薬学基礎演習				
担当教員	谷本 能文				
配当	薬科1(4413)			コード	41030
開期	前期	講時	木曜日1限	単位数	2
授業テーマ	【必修】 情報リテラシーの基礎を習得する。				
目的と概要	薬学を学ぶ上で必要な情報リテラシーの基礎を習得する。				
成績評価法	レポート、平常点を総合して評価する。				
テキスト	基礎からわかる情報リテラシー/奥村晴彦+三重大学学術情報ポータルセンター著/技術評論社				
参考書					
履修に 当たっての 注意・助言	補助教員:名徳倫明、錦織理華				
講義計画					
回数	授業形態	授業内容	到達目標(SBO)	コア対応番号	学習領域
1	演習	学内LANへの参加、共通フォルダの利用法	1. コンピューターを構成する基本的機能と接続方法を説明できる。	F(7)	技能
			2. IDの発行、学内LANの利用法、授業支援フォルダの使い方を習得する。	独自	技能
2	演習	文書作成・レポートの提出・ファイルの保存と削除	1. ワードプロソフト、表計算ソフト、グラフィックソフトを用いることができる。	F(7)	技能
			2. 文字の種類(全角と半角、大・小文字)、ファイルとフォルダの活用法を習得する。	独自	知識・技能
3	演習	ブラウザの利用・オンラインシラバスの利用法・moodleの利用法、学習支援システムの利用法	1. インターネットのブラウザ検索ソフトを用いて、ホームページを閲覧できる。	F(7)	技能
			2. 基本操作、検索エンジン、お気に入りの管理、Web版シラバスの利用法、e-learningポータルを経由した課題の提出方法を習得する。	独自	技能
			3. 薬学部学習支援システムを利用して演習・自習を行なうことができる。	独自	技能
4	演習	図書館利用教育(図書・雑誌検索法)	1. 代表的データベースとその内容を説明できる。	F(7)	知識
			2. 代表的な文献検索ソフトを用途に応じて使い分けることができる。	F(7)	技能
			3. ソフトウェア使用上のルール、マナーを守る。	F(7)	態度
			4. OPACを利用した蔵書検索、他大学及び公共の図書館の蔵書検索等を行なうことができる。	独自	技能
5	演習	電子メールの利用と活用	1. 電子メールの送信、受信、転送などができる。	F(7)	技能
			2. メール作成・送受信、メールの書き方(ビジネスマナー)を習得する。	独自	技能
			3. ファイルの添付、アドレス帳の扱い、メールとフォルダの管理を習得する。	独自	技能
6	講義	病院での情報環境の利用	1. インターネット、イントラネットの仕組みを概説できる。	F(7)	知識
			2. 病院における情報環境の利用について概説できる。	独自	知識
7	演習	プリンタ、CD-R、USBメモリの利用法	1. コンピューターを構成する基本的機能と接続方法を説明できる。	F(7)	知識
			2. ネットワークプリンタ、用紙管理、CD-R、USBメモリの利用方法を習得する。	独自	技能
8	演習	Excel2007の基礎	1. ワードプロソフト、表計算ソフト、グラフィックソフトを用いることができる。	F(7)	技能
			2. 表計算の概念(セル、ワークシート、ブック)、算術式と関数について習得する。	独自	技能

9	演習	Excel2007の応用	1. ワードソフト、表計算ソフト、グラフィックソフトを用いることができる。	F(7)	技能
			2. 並び替え、オートフィルタ、印刷について習得する。	独自	技能
10	演習	PowerPointの基本操作	1. ワードソフト、表計算ソフト、グラフィックソフトを用いることができる。	F(7)	技能
			2. スライド作成、オブジェクトの貼り付け、文字サイズの設定について習得する。	独自	技能
11	演習	スライド設計、プレゼンテーションの基本、発表用テーマの探し	1. 与えられた課題に関する情報を、コンピューターを用いて収集、加工、発表することができる。	F(7)	技能
			2. 発表内容の論理設計、色・アニメーション、発表方法の基本について習得する。	独自	技能
12	演習	PowerPoint用スライド作成	1. 与えられた課題に関する情報を、コンピューターを用いて収集、加工、発表することができる。	F(7)	技能
13	演習	PowerPoint用スライド作成	1. 与えられた課題に関する情報を、コンピューターを用いて収集、加工、発表することができる。	F(7)	技能
14	演習	プレゼンテーション実習と相互評価	1. 課題に対する自分の意見を決められた時間内、字数で発表できる。	F(7)	技能
			2. 質問に対して的確な応答ができる。	F(7)	技能
			3. 他者のプレゼンテーションに対して、優れた点および改良点を指摘できる。	F(7)	技能
			4. 効果的なプレゼンテーションを行う工夫をする。	F(7)	態度
			5. 聴衆の前で発表、相互評価により発表力を向上させる。	独自	技能
15	演習	プレゼンテーション実習と相互評価	1. 課題に対する自分の意見を決められた時間内、字数で発表できる。	F(7)	技能
			2. 質問に対して的確な応答ができる。	F(7)	技能
			3. 他者のプレゼンテーションに対して、優れた点および改良点を指摘できる。	F(7)	技能
			4. 効果的なプレゼンテーションを行う工夫をする。	F(7)	態度
			5. 聴衆の前で発表、相互評価により発表力を向上させる。	独自	技能
授業方法					
一般目標	学習方法	場所	教員数(補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
F	演習	演習室	2(1)	配布資料	90×14
F	講義	講義室	1	配布資料	90×1